

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2023/04/10

- 参加プログラム/Program: 工学系交換留学
- 派遣先大学/Host university: ミュンヘン工科大学
- 留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2022/04/01 ~ 2022/09/30
- 東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 都市工学専攻
- 学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 修士2年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

最も大きな要因は、COVID-19の感染拡大に伴う外出自粛によって、修士2年間のほとんどを自宅で過ごしたことにあると思う。就職活動を終え、修士論文を書き上げ、これから始まる社会人という長い道のりを目前にしたとき、私の中に少し戸惑いの念があることに気づいた。社会へ出る前に、まだ学生として経験できることがあるのではないかと考え、そのひとつが留学であった。

もともと海外の都市計画に興味があった。大学の授業における留学生や他国の学生との交流を通して、自分が当然なものを受け止めていた日本の都市やその構造的特徴を相対化してみたいと思うようになった。そのためには、他国に住みその土地で学ぶことが最も手っ取り早いと考えたため、留学を決めた。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2021年/Academic year / 学部・修士2年/University year / 秋学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2022年/Academic year / 学部・修士2年/University year / 秋学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

元々修士2年の秋学期からを想定していたが、諸事情で延期。結果として、修士論文を書き終えてから留学を行った。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

プロジェクト - 空間開発: 15 単位
領域横断的プロジェクト: 6 単位
都市的なデータ分析手法: 5 単位
外国語としてのドイツ語: 3 単位

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

「分析と計画の統合」をテーマに、都市の分析手法から実際の構造物制作に至るまでの授業を履修した。それぞれの授業で、分析と計画の占める割合が異なるように意識して選択した。

<p>■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :</p>
<p>4 科目/Subjects / 29 単位/credits</p>
<p>■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :</p>
<p>25 時間/hours</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :</p>
<p>友人との交流、スポーツ、インターン探し</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :</p>
<p>大学の学生によって運営されるイベントを通して、様々なアクティビティ(旅行・ハイキング・美術館鑑賞など)を行った。そこでは、新たな友人を作ることも出来た。また寮の近くで開かれるサッカーの練習にも参加し、毎週汗を流すことが出来た。</p> <p>それら交流的な活動と並行して、インターンを探した。具体的には、インターネットで検索に引っかかった事務所や、教授(東京大学・ミュンヘン工科大学双方)から紹介された事務所等に応募し、機会があれば面接を受けていた。</p>
<p>■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :</p>
<p>週末は、上述のイベントに参加して友人と交流した。ただし授業が忙しくなってきたからは、その準備に充てるが多かった。長期休暇は、旅行をした。</p>

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

<p>■ 設備/Facilities :</p>
<p>授業に関するもののみ列挙する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業スタジオ ・作業に必要な工具・作業場 ・図書館
<p>■ サポート体制/Support for students :</p>
<p>十分である。学習に必要な設備はもちろん、生活の情報や交友の場の提供、精神的な保護に関するワークショップまでである。</p>

プログラム期間中の生活について/About life during the program

<p>■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :</p>
<p>学生寮</p>
<p>■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :</p>
<p>東京大学にて手続きしたところ、自動的に決定した。</p> <p>環境としては、留学生が多くとても居心地が良い。生活に必要な店も十分である。1 点だけ上げるとしたら、あまりに国際的な環境であるため、ミュンヘン本来の雰囲気とは少し違う。</p>
<p>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :</p>
<p>気候は穏やか、しかし日本より寒い。</p> <p>大学周辺は食料品店とレストランがある。また併設された公園は散歩・ランニングに良い。</p> <p>交通機関は寮から徒歩 3 分、便利である。</p>

食事に関しては、自炊が可能である。外食だけでは少し食費がかさむが、それも不可能ではない。

■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

私の場合は、奨学金をドイツの口座に入れて管理し、生活した。

■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安は良い。医療・危機管理関係も保険があればそれほど問題ないだろう。心身の健康では、適度な運動とバランスの良い食生活が重要であると思う。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

東京大学を通して行った。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

渡航後、既に現地で留学している学生等に質問しながら手続きを進めた

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

保険に入った

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

渡航後、ドイツの保険会社に登録した

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

配布された資料通りに行った

■ 語学関係の準備/Language preparation :

ドイツ語を勉強した。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	20000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	30000 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	5000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	100000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	100000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ 留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :

家賃/Rent	50000 円/JPY
食費/Food	40000 円/JPY
交通費/Transportation	5000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	30000 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

■ 留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :
有
■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :
Erasmus+
■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :
861€
■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :
東京大学を通して

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :
■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :
単位/credit(s)
■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :
33 単位/credit(s)
■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :
4 単位/credit(s)
■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm) :
2023 年 3 月(20 /)

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
まず、授業の内容について。どのような大学も(その大学のレベルが高ければ高いほど)、得意分野やそれに伴う固有の論理があるだろう。東京大学と同じ内容の授業をミュンヘン工科大学で取ったからと言って、同じ学びを得られるわけではない。視点や切り口・授業の構成・評価基準など全てが違うからである。何より異なる言語で学ぶと、母国語では気づかなかった疑問やアイデアに恵まれることがある。その意味で、留学先で学ぶことの意義は、東京大学での学びを相対化できると共に、自分の理解を多面的に出来ることだと思う。
生活全般について。私は、留学の学びの多くは授業ではなく日々の生活にあると感じる。それは異なる文化の下で一人暮らしをし、新たな自分を発見・理解することである。現地のスーパーで知らない食材を試すのも良いし、お気に入りのアジアマーケットで日本食を完全再現するのも良い。世界中の学生と交流するのは大変な刺激になるし、現地で日本人と交流し心を落ち着かせるのも決して悪いことではない。重要

なことは、新しい環境に身を置く中で、自分のスタイルを柔軟に変化させ、また確立させることであると思う。そのために、迷ったらとりあえず色々なことを実践してみるのが良いのではないだろうか。ただし、危険の及ばない範囲でだ。留学生は自立した存在ではなく、あくまで大学の庇護の下、生活を疑似体験する身分であるからだ。

■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :

もともと海外での就職に興味があったが、現地で就職活動を行う中で、海外の懸念点、日本の環境の良い点にも気づくようになった。具体的には、海外は良くも悪くも実践的であり即戦力を求める傾向にある。従って自分の研究や興味に近い仕事を出来る可能性が高い一方、逆説的には「研究や興味が実務に寄りすぎてしまう」恐れがあることを感じた。目先の実務に役立つスキル(例えば機械学習・データビジュアライゼーション・建築の3D パース作成技術など)は、確かに実用的かもしれない。しかし、陳腐化する恐れもあることを懸念しなければいけないだろう。その点では、新卒をゆっくりと育てる風習のある日本の方が自分の興味を推し進めることが可能である場合もあるように思う。

とはいえ、海外の就職活動を止めるわけではない。個人的に海外キャリアで興味があるのは、その働き方である。私の専門である建築業界は、労働時間が長いことで重要だ。生産性が高いことで有名なドイツで、建築家がどのように働いているのか興味があるし、私の働き方のスタンダードを作る上でも、初めての就業はドイツであってほしいと思う。

■留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :

就職活動には、基本的にメリットがあるだろう。海外で得た経験の多くが仕事の場でも活きるだろうし、事実就職活動でも評価される。もちろん、海外就職を評価しない会社や、疎ましく思う会社もあるだろうが、留学生でそういう会社に応募する方は少ないだろう。

■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :

インターンを探した。

■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :

結果として、2023年4月からドイツの都市デザイン事務所でインターンを行う運びとなった。半年間の契約であるため、その後契約を延長するか、日本に戻って就職するかは未明である。

■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :

なるべく多くの奨学金を探し、応募し、獲得すると良いと思います。お金の余裕は、心の余裕につながります。

■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :